

# 自民党静岡市議団だより

令和2年 3月 | 静岡市葵区追手町5-1 | 発行 自由民主党静岡市議会議員団

## 自民党市議団が市に対して要望した新年度予算について(抜粋)

### 子どもを大切にしまちの実現

- ① 私立幼稚園事務負担金の創設 (175万円)  
→ 幼児教育・保育の無償化への対応
- ② 保育補助者雇上強化事業の充実 (1億1000万円)  
→ 保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図る
- ③ 障がい児保育に係る対象児童の要件緩和 (144万円)



※( )内は予算額で、→には予定施策を記載。

### 地域経済の振興

- ① 荒廃農地再生・集積促進事業費助成の創設 (600万円)  
→ 荒廃農地を借り受けて再生利用に取り組む農業者に対する助成
- ② IT導入に向けた生産性向上支援業務費 (680万円)  
→ 中小企業の生産性向上に向けた支援体制の強化
- ③ オクシズ地域活力サポート事業 (900万円)



### 重点要望・政策要望

- ① 静岡市型35人学級編成の完全実施 (1億2000万円)  
→ 市内小中学校において35人以下の学級体制を確立
- ② 合併処理浄化槽の設置を促進するための補助金の確保 (9530万円)
- ③ 「桜えび」の記録的不漁解消に向けた対策支援  
→ 融資制度や助成制度の継続 (4600万円)  
→ 漁場環境調査 (63万円)



## お茶の祖 聖一<sup>しょういちこくし</sup>国師の顕彰を促進

我が国にお茶の文化や製粉の技術などを持ち帰った葵区柘沢出身の聖一<sup>しょういちこくし</sup>国師の顕彰活動を推進しています。

静岡茶の祖である聖一<sup>しょういちこくし</sup>国師の偉業を市内外に広め、幅広い理解を得ることは、本市の茶業振興や観光交流を進めるうえで大切なことだと考えています。市議団では、わかりやすく伝えるべく聖一<sup>しょういちこくし</sup>国師を題材にした冊子を作成し、幅広く活用してきました。

しかし、政務活動費で冊子を作ることは違法であるとの主張が提訴されましたが、本年2月に最高裁判所は、訴えを棄却し「調査研究の一面があった」と政務活動費の政務活動費の全面的な正当性が認められました。



## 代表質問

令和2年2月定例会において、尾崎剛司政調会長が自民党静岡市議団を代表して質問しました。質問の中から注目されている認知症支援についてご紹介いたします。



**Q** 静岡市における認知症施策の進捗と今後新たに進めていく取り組みは?

**A** これまでも認知症サポーターの養成や認知症カフェの運営、認知症サポート医の養成など様々な認知症施策に取り組み、一定の成果が上がっている。

一方、市が行った市民ニーズ調査では、介護をしている家族の大半が「認知症への対応に不安がある」と感じ、相談できる場所や簡単な認知症チェックの機会を求めていることがわかり、より一層の取組の強化が必要である。

このため、これまで以上に認知症本人やその家族に対して支援するとともに、広く市民に対して認知症の理解促進を図られるよう、本年秋に、認知症支援の中心的な拠点となる(仮称)認知症ケア推進センターを新たに葵区七間町に開設する。

## 新型コロナウイルス対策への緊急要望を行いました



新型肺炎対策強化を静岡市議団 市長に要望

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、静岡市議会の最大会派、自民党市議団(鈴木和彦会長)は5日、市民の不安解消と感染拡大の防止に向け、市に万全の対策を求める緊急要望を田辺信宏市長に行った。田辺市長(手前)に要望書を手渡す鈴木会長(右から3人目)と静岡市役所静岡庁舎

要望書では▽適切な情報収集と情報提供▽静岡市立静岡病院を中心とした医療体制の整備と他の医療機関との連携▽外国人観光客に対する注意喚起と医師会や県など関係機関との連携を求めた。鈴木会長は「市内で感染者は出ていないが、何が起きるか分からない。万全を期してほしい」と要望。田辺市長は「しっかりと対応します」と応じた。

# 葵区のトピックス/令和元年度の主なできごとをご紹介します

## 新大河内橋が完成しました!



主要地方道梅ヶ島温泉昭和線(県道29号)は、安倍川上流の梅ヶ島・大河内地区と市街地を結ぶ唯一の路線であり、緊急輸送路にも位置付けられています。また、地域住民の生活

や通学路、オクシズの観光資源へのアクセス道路として重要な役割を果たしています。

この道路に架かる大河内橋が狭くすれ違いが困難なこと、台風などの大雨や地震に影響を受けてしまうことが予想され、架け替えが懸案となっていました。そこで平成21年より計画し、25年度より工事着工されて、令和2年3月末に新橋の供用開始となります。

架け替えの効果として、緊急車両やバスなどの通行がスムーズになるとともに、豪雨災害、地震などに強く孤立化の防止に寄与します。

## 歴史文化の誘い道の整備 ～歩いて楽しいまちづくりを推進します～




新静岡セノバをはじめとした商業・業務エリアから駿府城公園方面の歴史文化拠点を繋ぐ魅力的な道筋になるように、歴史的な景観に配慮しながら安全で快適な、ひと中心の空間を確保

して、歩いて楽しいまちづくりを進めています。5大構想のうち「歴史文化の拠点づくり」と「まちは劇場」の推進を目指して、お堀の一部に水上デッキを造り、駐輪場昇降口の改修や道路整備をして、各施設を繋げる共有空間であるコモンスペース(※)を新設して、店舗型カフェによるにぎわいを創出していきます。

※コモンスペースとは「施設をつなげる共有の空間」のことです。

## 葵区役所からののお知らせコーナー



 **葵区役所公式ツイッター『あおいくんち』を始めました!**

「区役所業務のお役立ち情報」や「四季折々の自然風景」、「イベント情報」など葵区を身近に感じてもらえるようなツイートをお楽しみください。

しりあがり寿さんの四コマ漫画による情報発信も行いますよ。

**【静岡市葵区役所】あおいくんち @aoikun\_aoiku**



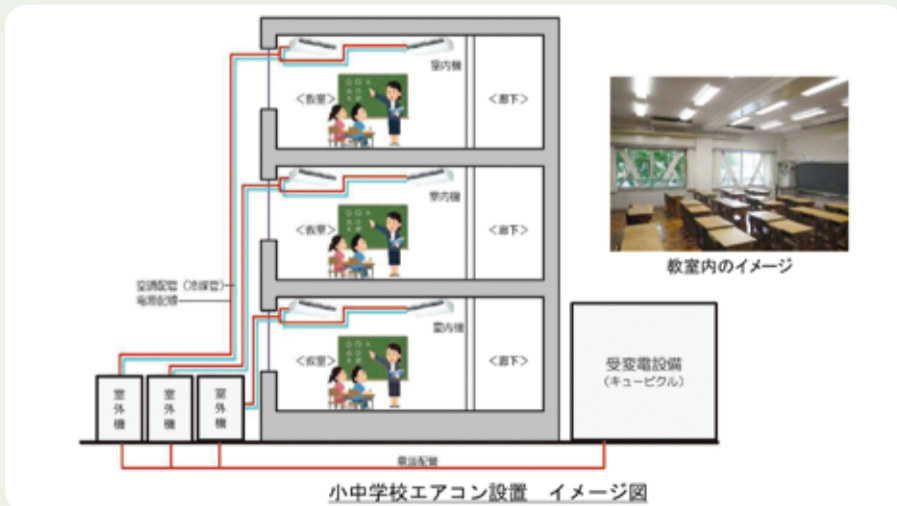
## 「おおくやみ窓口」ご利用いただけます

これまで、ご家族がお亡くなりになった際の手続きについて、「どこに行ったらいいのかわからず時間がかかる」や「何回も書類を書くのが大変」といったお困りのご意見が多く寄せられていましたので、そのお悩みを解消していただけるように『おおくやみ窓口』を開設しました。お名前や住所などの基本情報を入力し、必要書類が一括で打ち出せるようにしています。その後はどの窓口に行けばよいかを職員がご案内するので、時間もスムーズになって安心して手続きができます。



\*おおくやみ窓口は、1階の保険年金課内にあり、5番の看板が目印です。

## 市立小・中学校にエアコンを配備



小・中学校にエアコンを配備することで、近年の夏場の気温上昇から児童・生徒の「安全と健康」を守り、学習環境を改善します。中学校の普通教室及び小・中学校の図書室は、令和2年度中に完了となります。

## 水の相互運用事業「北部ルート」が完成しました



旧静岡市と旧清水市の合併(2003年)による象徴的な事業として計画された「水の相互運用」として、南部ルート(2007年運用開始)と共に、このたび北部ルートが完成しました。

「水の架け橋」として、安倍川を水源とする旧静岡市と、興津川を水源とする旧清水市を延長21.1kmの水道管でつないだもので、安倍川の水を融通することにより、安定した給水が可能になりました。

駿河区のトピックス/令和元年度の主なできごとをご紹介します

「日本平久能山スマートインターチェンジ」開通



平成25年度から中日本高速道路株式会社とともに事業を行っていた「日本平久能山スマートIC」が、令和元年9月14日に開通しました。



さまざまな効果

- 静岡IC及びその周辺道路の交通混雑緩和
- 医療施設への搬送時間の短縮
- 災害時の復旧支援ルートの確保
- 日本平や久能山東照宮など観光産業への支援効果
- 高速道路IC5km圏内人口カバー率の向上(81%→97%)
- 高速利便性向上に伴う産業の活性化

富士見エリア

児童発達支援センターもも・生活介護ぴーす完成!

ぴーす完成予想図



静岡市では、「生涯活躍のまち静岡(CCRC)構想」を掲げ、「葵おまち地区」と「駿河共生地区」という2つの地区を中心に、健康長寿のまちづくりを進めています。

この「駿河共生地区」の重要な拠点の一つである「富士見エリア」で、平成31年4月、市内2か所目の児童発達支援センターである「児童発達支援センター もも」がオープンし、令和2年4月、人工呼吸器等の医療的ケアを必要とする重度の障がいのある方が通所する重症心身障がい者対応生活介護事業所「生活介護 ぴーす」がオープンします。

いずれも、整備補助金や市有地を活用した民設民営の施設です。福祉・子育て拠点として、障害のある方にとって重要な拠点となるだけでなく、ボランティアの受入れや近隣の施設や地域の方と協働したイベントの開催など、健康長寿のまち「駿河共生地区」のコンセプトである、交流・共生を進めるための取り組みについても、推進していきます。

トロベーのかわいいLINEスタンプ誕生!!



市の公式キャラクター初となるトロベーのLINEスタンプができました。駿河区応援隊長トロベーを通して、駿河区に更なる愛着をもっていただこうと

区の若手職員により作製されました。中学生や職員から500案を超えるデザインを募り、昨年夏には「スタンプ総選挙」を実施。2,800人を超える市民から7,800票を超える投票をいただきました。

スタンプは全40種類。「おはよう」「おやすみ」などの定番の挨拶から「しょんない」や「やいやい」など静岡の方言のものまで表情豊かなトロベーがいっぱいです。1月末の発売から2週間で700個を売り上げる人気ぶりです。価格は120円。LINEスタンプショップまたはLINE STOREで販売しています。

トロベーLINEスタンプはこちら



水の相互運用事業「北部ルート」が完成しました



柏尾配水池

旧静岡市と旧清水市の合併(2003年)による象徴的な事業として計画された「水の相互運用」として、南部ルート(2007年運用開始)と共に、このたび北部ルートが完成しました。「水の架け橋」として、安倍川を水源とする旧静岡市と、興津川を水源とする旧清水市を延長21.1kmの水道管でつないだもので、安倍川の水を融通することにより、安定した給水が可能になりました。

## 清水区のトピックス/令和元年度の主なできごとをご紹介します

### 清水港、釣り文化促進のモデル港に指定



国交省より、釣り文化振興の取組を進めているモデル港として、清水港が全国13港の1つとして指定されました。現在、新興津地区に2023年度完成予定の海釣り公園を整備中で、地域活性化施策として釣り文化振興を進めております。

### 老朽化した桜橋の架け替え工事を実施



現在の桜橋は、昭和6年に架橋され、約90年間共用されていることから経年劣化に伴う損傷や交通量の増加に伴う損傷が顕著です。新橋に架け替えることにより、耐震機能と耐久性が向上し、維持管理にかかる費用も軽減されます。令和6年度に施行完了予定です。

### 清水港開港120周年、新たなステージへ



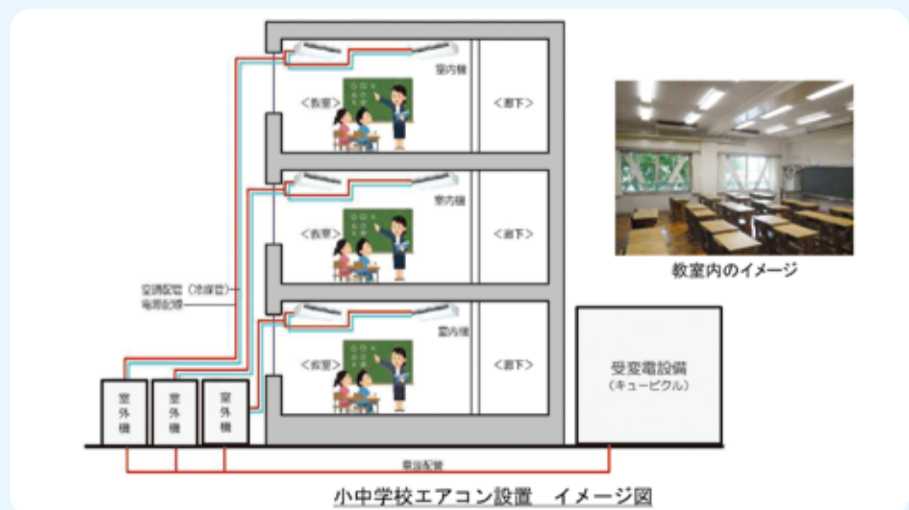
「令和」新時代と共に開港120周年を迎えた清水港。7月の「海フェスタ」式典には秋篠宮ご夫妻がご臨席されました。また、「公民連携協議会」は、清水港周辺エリアの将来像を描いたグランドデザインを発表し、清水の将来図を市民に示しました。

### 夜景サミット、東海地区で初開催



平成28年に認定された日本夜景遺産「日本平」に加えて、「エスパルスドリームプラザ」の観覧車が、施設型夜景遺産として日本夜景遺産に認定されました。このほど、全国から夜景観光地の行政と民間事業者が集まり「夜景サミット」が本市で開催され、認定授与式が行われました。

### 市立小・中学校にエアコンを配備



小・中学校にエアコンを配備することで、近年の夏場の気温上昇から児童・生徒の「安全と健康」を守り、学習環境を改善します。中学校の普通教室及び小・中学校の図書室は、令和2年度中に完了となります。

### 清水の渇水対策「北部ルート」完成



旧静岡市と旧清水市を繋ぐ「水の相互運用事業」です。今回完成した柏尾配水池は1日最大7,000m<sup>3</sup>を受け入れ可能となりました。渇水時には、平成18年に完成した草薙配水池の3,000m<sup>3</sup>と併せて、清水区約1万4千世帯へ安定した水の供給が可能となりました。